

第2回 新幹線等の函館駅乗り入れに関する調査業務に係る
プロポーザル審査委員会 議事録

日 時 令和5年8月28日(月) 15:00～17:45

会 場 函館市役所8階第4会議室

出席者 委員 : 奥平委員長, 岸委員 (web参加), 櫛引委員, 萩原委員 (web参加),
三浦委員

事務局 : 企画部新幹線対策担当 升田課長, 江藤主査, 小西主任主事

1 開 会

- ・事務局から第2回審査委員会の開会を宣告

(1) 委員会成立の要件の確認

- ・事務局から過半数の出席により委員会成立を報告

2 議 事

(1) 報告および説明事項

- ・事務局から, 審査の手順等について説明

【概要】

- ・委員長の職務代理者について, 委員長から岸委員を指名させていただいた。
- ・プロポーザルへの参加表明および企画提案書の提出があった3者について, 参加申し込み順にヒアリング(プレゼンテーションおよび口頭での質疑応答)を実施する。
- ・各提案者について, 15分のプレゼンテーション, 15分の質疑応答を実施する。終了後, 提案者が退室したのち, プレゼンテーションおよびヒアリングの内容を踏まえ, 採点いただく。
- ・3者目のヒアリングの終了後, 委員間で全体を通じた協議を行っていただく。必要に応じ採点の修正も可能とする。その後, 事務局が3者分の審査表を回収, 集計する。
- ・事務局において, 審査項目ごとに出席委員5名の評価点を加算し, 5で除した点数を当該審査項目の評価点とする。評価点の合計が最も高く, かつ70点以上の1者を最適提案者として選定いただく。

- ・事務局から、会議の取扱いについて説明

【概要】

<ul style="list-style-type: none"> ・本審査委員会は、要綱第5条第4項の規定に基づき、非公開となる。 ・議事録は、本市Webページでの公開を想定しており、事業者の選定終了後、内容を要約した形でとりまとめ、各委員の確認の上で公開する予定である。なお、要約の程度は委員長に一任させていただく。

【質疑】

委員	現時点で審査委員は公表されているのか。
事務局	現時点では公表されておらず、これからヒアリングを実施する企画提案者3者も審査委員が誰であるか知らない状態である。最適提案者の決定後、所属と氏名が公開される。 議事録は、委員の発言が特定されない形での公開とする。

- ・審査の手順や会議の取扱いについては、事務局説明のとおり全会一致で決定された。

(2) プレゼンテーション・ヒアリング

- ・1者目のA社から、順次、プレゼンテーション・ヒアリングを実施

【A社入室・プレゼンテーション】

(企画提案資料に従ってプレゼンテーションを実施)

【A社ヒアリング】

(委員によるヒアリングを実施)

※以降、B社およびC社について繰り返し

(3) 選定に係る協議

- ・企画提案者3者の提案内容について、審査委員から発言

【評価・意見】

<ul style="list-style-type: none"> ・A社はB、C社に比べ具体的でそれなりに考えられている。鉄道にも詳しいようで、説得力がある部分もある。 ・A社についてもまだ物足りない部分はあるが、経営体の問題など勘所は
--

つかんでおり，ミニ新幹線に匹敵する新しいやり方を発明しなければいけないことをわかっている。

- ・この3者でいくとA社だろうと思う。

このプロポーザルの1番のポイントは，事業費が75億円という数字が一人歩きしているが，それが可能かということと，回収可能かということ。

回収のため，受益者負担という形で，新千歳空港の特別使用料の様にやらないとできないのではないかとこのところが一番の関心であり，そこについてA社が一番詳しく課題をあげている。

事業費がいくらかかるかというところと，本当に技術的にできるかというところがないと次に進めないと個人的には思っており，そこを重視して評価している。

- ・私も結果としてA社かなと思っている。

他の委員がおっしゃったように，事業費75億円という話に対する一定程度公知となっている見解への分析について唯一触れていたのがA社で，その時点で他と発射台が違うと思っている。

それに加えA社は他の並行在来線運営会社との比較検討に関する作業工程といった提案書にない部分も含めてのご提案があり，そういった部分も入れているのが非常にイメージしやすい。

例えば，譲渡資産の分析部分で他の並行在来線運営会社の8社に触れられているところがよい。

- ・難しい提案内容の中，B社，C社に比べ，A社の提案書は十分なボリュームがあり，いろんな部分に説明が加えられていた。この中ではA社ではないかと感じている。

ただ，A社の提案の中で新幹線を分離して，札幌に7両，函館に3両行くという話について，観光シーズンは車両数を逆にしないと間に合わないのではないかと思われるので，そこは考えないといけないと感じた。臨機応変にやればそういうこともできるかなと思う。

- ・選定に係る協議の後，事務局が採点表を回収し集計

(4) 最適提案者の選定

- ・委員長から，提案者3者のうちA社の評価82.6点が最も高く，かつ70点以上のため，最適提案者として選定する形になると報告。
- ・報告を受け，委員から「異議なし」の声があり，全会一致でA社が最適提案

者として選定された。

3 その他

- ・事務局から、今後の流れについて説明

【概要】

- ・最適提案者は、この後、市として受託候補者として決定し今月末に公表予定。その際、委員の皆様の所属および氏名も公表されることになる。
- ・第1回、第2回審査委員会の議事録について、後日、委員の皆様に内容の確認をお願いします。

4 閉 会

以上